

乳児期後半の赤ちゃんについて



- ☆ハイハイが上手になり、つかまり立ちもできるようになります。
- ☆興味を持ったものにはっていくように、引き出しを開けて物を出したり、手の届かなかった机の上の物をつかんだり、行動範囲が広がります。
- ☆ハイハイやつかまり立ちをして、好きなものをつかみ、何でも口に入れてしまいます。
- ☆名前を呼ぶと振り向くなど、「バイバイ」「バンザイ」などをするようになります。
- ☆「ア！ア！」「マンマ」などいろいろな種類の声を出し始めます。
- ☆自我が芽生えてきます。好き嫌いが出てきて、気に入らないことがあると、ひっくり返って激しく泣いたりします。また、嫌なものを放り投げたりもします。
- ☆お母さんなどの親しい人が見えなくなると、泣いて追いかけます。姿が見えなくなっても、向こうの部屋にいるはずとイメージできるのは1歳半頃ですから、このような「後追い」はしばらく続くかもしれません。
- ☆集中する時間が長くなって、しばらくの間なら、ひとり遊びができるようになります。

☆どんどん話しかけましょう。

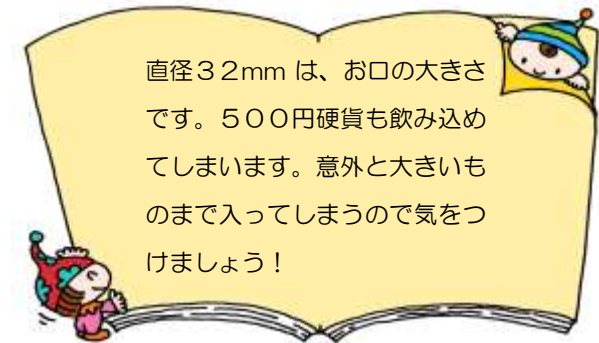
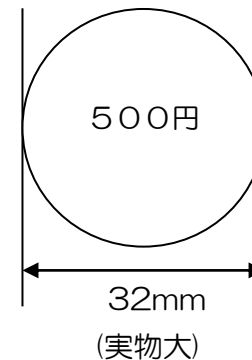
赤ちゃんは今、周囲の話すことを聞いて、言葉をため込んでいる時期です。意味のある言葉が出るのはもう少し先ですが、人の会話をたくさん聞くことが言葉の発達を促しますから、どんどん話しかけましょう。



＜育児のポイント＞



- ☆危険なものは片付けておきましょう。
好奇心のかたまりで、家の中を動き回ります、転落、火傷、誤飲などの事故が増えてくる時期ですので、赤ちゃんの目の高さでチェックし、危ないものや汚れたものは、手の届かないところに移動させましょう。タバコは誤飲の中でも多いもののひとつです。



☆子どもの事故予防

0～9歳児の死亡原因の上位を占めるのが「不慮の事故」(思いがけない事故)です。また、0～4歳児の不慮の事故は、本来安全なはずの家庭内でも多く起きています。

これらの事故の大半は前もって住環境を整備したり、親や家族のちょっとした気配りで防ぐことができます。

「わが家の安心ガイドブック」では、乳幼児の事故予防と応急手当について詳しく掲載されていますので、右記のホームページよりぜひご覧ください。



☆赤ちゃんと一緒に遊びましょう。

「バイバイ」など、動作のまねが始まる時期です。赤ちゃんが大人のまねをするのは、人間らしい生活習慣や動作を身につけていく第一歩です。楽しい遊びの中で赤ちゃんは、自然と覚えていくでしょう。

☆睡眠

睡眠と目覚めのリズムがはっきりしてきます。昼寝は午前と午後の1回ずつ位になりますが、睡眠時間には、個人差があるので、機嫌がよければ睡眠は足りていると考えてよいでしょう。

☆遊び

◆高上げキック



赤ちゃんの足の裏を支えて押し、手を離すと、赤ちゃんが膝を伸ばします。親の離れた手を蹴るように誘って、徐々に手を高くして赤ちゃんに手を目標に蹴らせます。

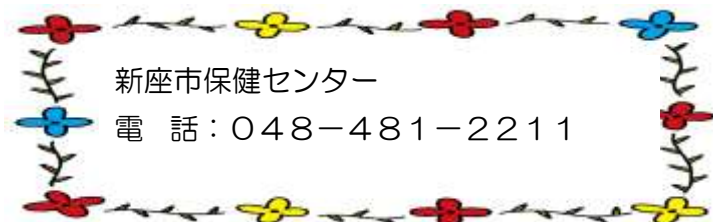
◆おしゃがみ立っち

赤ちゃんの両手をもって、膝を曲げてしゃがみ姿勢から立ち上がらせます。

◆ジャンプ

お父さんとお母さんが一緒にやります。

お父さんの片手の上に赤ちゃんを立たせて、片手で胸を支えます。「1、2、3」でお母さんの方へ飛行させるつもりで渡します。お母さんは赤ちゃんの目をみつめてあげましょう。



新座市保健センター

電話：048-481-2211



次回の健診は、1歳6か月児健診です！

1歳6か月児健診は集団健診になります。診察、計測、はみがき指導等を行います。健診対象月の前月末日までに個別通知を送付しますので、是非お越しく下さい。対象月に健診を受けられない方や健診対象月齢で通知の届かない方は、保健センターまでご連絡ください。

お子さまの健康・成長・育児、お母さんご自身や家族の心とからだの健康について、心配なことや気になることがありましたらお気軽にご相談ください。

～子育てのお手伝い～

新座市ファミリー・サポート・センター

新座市ファミリー・サポート・センターは会員同士が困った時はお互いに支えあう気持ちで子育てのお手伝いをしている事業です。援助を受けたい方を利用会員、援助をしてくださる方を協力会員と呼んでいます。

利用会員の条件

新座市在住または在勤、生後2か月から小学校6年生のお子さんがいる方（産後育児サポート利用の場合は出産予定日2か月前から登録可）
詳細については下記二次元コードからご確認ください。

二次元コードはこちら



《問い合わせ先》

新座市役所 こども支援課内
TEL 048-424-8277